

平成 29 年度 丹生高等学校 学校評価書

項目	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
重点目標 1 中高一貫教育	高1、高2連携生対象のグループ研究で、主体性や協働性を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ課題研究で協力し、主体的に研究できたと回答した生徒は 84.4%でほぼ目標を達することができた。 ● グループ研究の質の向上と、個人研究への転換が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● テーマ設定や研究発表などの場における大学教員等の支援により、研究内容を深化する。 ● 個人による探究活動への展開を検討する。
	高1、高2連携生対象の特別講義や体験学習でふるさと愛や、貢献する意識を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別講義などで、ふるさとへの愛着や貢献する意欲が高まったと回答した生徒が 76.6%で、やや目標を下回った。 ● 地元の NPO や自治体と連携する機会を増やし、協働して問題解決する体験が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元の NPO や自治体と連携し、ふるさとに関する問題解決学習を複数回継続して実施する。 ● 地元のイベント等への生徒の派遣回数を増やし、メディアへの露出回数も増やす。
重点目標 2 教育課程・学習指導	授業力向上チームと連携し、全校体制で授業研究に取り組み、事後の検討会の内容を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業をおおむね理解していると回答した生徒は 62.7%で、目標の 75%には届かなかった。 ● 6月と11月に公開授業週間を設定し、授業研究会等で教職員の授業力向上に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生徒の主体的・対話的な活動と ICT 機器の活用を 2つの柱にした授業改善に全校で取り組む。 ● 定期的な授業理解度の調査にもとづいた授業改善や評価の工夫を行い、3学年全体の理解度 75%以上を目指す。
	冊子「NYU LIFE」を活用し、計画的な学習習慣を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各教科の宿題や課題を、提出期日までにおおむね提出できたと回答した生徒は 80.2%で、目標の 75%以上を上回ることができた。 ● 「NYU LIFE」により学習習慣が身につけていると回答した生徒は 51.1%であり、冊子の内容や活用法の指導などが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題に取り組む個人目標とともに、学級単位での取り組み目標を設定するなど、学級経営力の向上に取り組む。 ● 「NYU LIFE」の活用法を工夫し、計画を立てたり、進捗により計画を調整したりするなど、自己管理能力の向上に取り組む。
重点目標 3 生徒指導	校内での携帯電話のルールの周知を図り、自己管理能力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ● 携帯電話の校内ルールを守って生活することができたと回答した生徒が 91.2%であった。本年度からの新ルールが周知・徹底できた。 ● 本校の携帯電話の指導について、適切であると回答した保護者は 90.1%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新入生に対する入学時の指導の充実に取り組み、規範意識の向上に努める。 ● 携帯電話の校内ルールについて継続して指導しつつ、ネット活用のマナーなルールに関する指導を強化する。
	部長・キャプテン会議の内容を充実し、部活動の主体的で自律的な運営方法を指導する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 部活動加入者数 328人、加入率 78% ● 主体的・自律的に部活動に取り組んだと回答した生徒は 84.7%であり、昨年よりも 4ポイント向上した。 ● 学習と部活動の両立が図られていると回答した生徒は 79.6%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 部活動連絡ボードの活用方法を工夫し、連絡の徹底を図る。 ● 新入生への部活動勧誘や部紹介の方法を改善し、部活動加入率を 80%以上を目指す。 ● 平日1日、休日1日の部活動休養日の設定について検討する。

項目	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
重点目標4 進路指導	主体的に自らの進路を考え、行動する意欲や態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分から進んで進路の情報を収集したり、大学や職場見学に参加したと回答した生徒は 73.5%で 目標の 80%に及ばなかった。 ● 本校では進路情報の収集や進路体験学習が整っていると回答した保護者は 89.3%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生徒に進路意識を高めさせるため、更なる情報の提供、ガイダンスの充実を行う。 ● 福井大学や福井県立大学、金沢大学等との連携を深め、本校独自の大学セミナーなどを実施し、進学意欲を喚起する。
	研修会や各種資料を改善し、進路情報の周知に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本校の保護者に対する進路情報の提供に対する満足度は 87.9%であり、目標の 80%を上回った。 ● 子どもの進路に関する本校からの情報に不足を感じないと回答した保護者は 81.7%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 進路研修会の企画の充実とともに、実施期日をできるだけ早く保護者に連絡するなどの工夫を行い、保護者の進路意識の向上と、参加者の増加に努める。
重点目標5 保健管理・教育相談	年間を通して心身ともに健康的に生活する意識や態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 心身の健康を意識しながら生活することができていると回答した生徒は 87.3%であった。 ● 教室の整理整頓や、清掃活動に積極的に取り組んでいると回答した生徒は 83.6%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康に対する意識を高めるため、生徒及び保護者向けの情報提供の内容を充実する。 ● 美化委員会活動を通して、環境美化意識の高揚を図るとともに、学年会と連携して、教室の整理整頓に取り組む。
	家庭、地域、機関等と連携し、安全で安心な教育環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 昨年度までの学校安全計画を見直し、全面的に改定した。 ● 学校安全計画に基づき、全教職員による安全点検を年 3 回実施し、改善個所の修理・修繕を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校安全計画に基づいた運営と、安全計画の点検を進める。 ● 外部専門家の支援を受け、危機管理マニュアルを全面的に見直し、教職員の危機管理意識の向上に努める。
重点目標6 読書指導・情報管理	図書館企画、希望図書購入、図書館での授業実施等を通して貸出冊数・貸出者数を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ● 生徒による本の買い出しや、校内ビブリオバトルの実施など、読書環境の充実に努めた。 ● 平成 29 年 12 月末現在の貸出冊数は 1369 冊で、貸出者数は 262 人である。いずれもほぼ目標を達成することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 図書室の書架レイアウト改善や図書館企画の充実に取り組み、利用者の増加を目指す。 ● 生徒のニーズや進路実現に合った図書の充足に努めつつ、読書意欲の向上に取り組み、年間貸出数 1500 冊以上を目指す。
	H P の構成や内容を見直し、より魅力的な学校情報の発信に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校行事や部活動の大会成績などの迅速なアップに取り組んだ。 ● 平成 29 年 12 月末現在の閲覧数は 28,744 回で、前年同時期比で約 1500 回増加した。 ● H P 内容の充実とともに、スマートフォンへの対応が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本校 H P をスマートフォン対応に刷新し、利用者の便宜を図り、年間閲覧数向上に努める ● 写真を中心とした教育活動の迅速な発信に努めるとともに、H P の閲覧につながるような働きかけの工夫を行う。